

平成19年7月20日

第113回光応用・視覚技術委員会議事録

光応用・視覚技術委員会
委員長 高橋 信一

- . 日時：平成19年4月20日（金）14：30～17：30
- . 場所：日本交通協会第1会議室
- . 出席者：高橋委員長、関根、中瀬、堀内、綱脇、依田、篠田、各委員
木下、本田 各幹事

. 配布資料

- No.113-01 第112回光応用・視覚技術委員会議事録（案）
- No.113-02 第70回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録
- No.113-03 平成18年度 光応用・視覚技術委員会活動状況報告
- No.113-04 第8回リソグラフィ先端技術調査専門委員会議事録
- No.113-05 メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会活動方針及び報告書
- No.113-06 リソグラフィ先端技術調査専門委員会活動方針及び報告書
- No.113-07 安全・安心のための赤外線調査専門委員会活動方針及び報告書
- No.113-08 無電極放電ランプ調査専門委員会設置趣意書
- No.113-09 平成18年度活動計画 / 平成19年度活動計画
- No.113-10 光応用・視覚技術委員会名簿

. 議事

1. 前回議事録の確認

配布資料 No.113-01 に基づき、本田幹事より前回議事録が読み上げられ、以下を修正して承認された。

- 1) 2.6 平成18年度、19年度の活動計画について
「配布資料 No.111-07 に基づき」 「配布資料 No.112-07 に基づき」
- 2) 2.7 幹事・委員の交代
「配布資料 No.111-08 に基づき」 「配布資料 No.112-08 に基づき」

2. 報告および審議事項

2.1 A部門調査研究運営委員会報告

高橋委員長より配布資料 No.113-02 に基づき、第70回 A部門調査研究運営委員会の報告及び連絡事項について、以下が報告された。

- 1) John Wiley & Sons 社より発行される共通英文誌について、著作権は電気学会が100%、発行権は Wiley と 50%ずつとなること、当初2年間はオンライン版は無料配布、冊子は大学に無料配布されるが、3年目以降は実販売になることが報告された。
- 2) 平成18年度 A部門大会について、大会参加者は382名、論文発表件数270件、日韓合同セッションでは3テーマについて31件の発表が英語で行なわれたことが報告

された。

- 3) 平成20年度電気学会全国大会は福岡工業大学が予定されていることが報告された。
 - 4) 2007 Japan-Korea Joint Symposium on Electrical Discharge and High Voltage Engineering の電気学会及び放電技術委員会主催の提案があり、審議の結果、電気学会 A 部門主催として役員会でメール審議されることになったことが報告された。
 - 5) 放電技術委員会傘下の調査専門委員会の技術報告付属の CD-ROM にある各種電子衝突断面積データの Web 公開についての提案を審議し、了承した。
 - 6) 電気学会 A 部門 基礎・材料フォーラムについて、運営委員会での意見と、今後の方針が説明された。研究会と講習会は性質の違うもので、対象者を同じに出来ない。研究会で手一杯であり、収益を前提にした計画は難しい。東京支部の講習会でも報告書はそれほど売れていない現状もあり、実行はやれる見通しのある委員会から先ず計画・提案してもらって、運営委員会で検討した後に実行していくことになった。
 - 7) 平成 17 年度使途指定なし寄付金の使途が決定されたことが報告された。
 - 8) 事務局が各技術委員会に依頼して策定中だった電気技術発展の中長期ビジョンを基にデザイナーに依頼して作成した、中高生にも理解できるようなイラストも盛り込んだロードマップのピラ 7 種類の一例が紹介された。
 - 9) 寄付金募集を継続的に行なうべく、平成 19 年度会費請求時に同時に寄付金募集の案内を行なうことが報告された。
 - 10) 技術報告、教科書販売収入が低調であり、前年度を下回っていることが報告された。
 - 11) 編修関係報告として、アソシエートエディターが各技術委員会から 2~3 名選出されることが報告された。
 - 12) 昨年 10 月に EINA マガジンが発行されたことが報告された。
 - 13) 共催技術会合等における著作権明確化に関する検討 WG では、著作権の取り扱いについて依然不明確な部分があるため、継続審議中であることが報告された。
 - 14) 第 12 回卓越技術 DB 構築委員会報告として、3 月に試験公開、7 月に本公開する予定であることが報告された。
 - 15) 調査専門委員会の解散時には必ず解散報告書の提出が必要であり、報告の形態としては 技術報告、技術報告単行本、学会誌への投稿、研究会での発表、全国大会等での発表を選択できるが、設置の段階での承認が必要であることが報告された。A 部門は原則 でやってきており、選択肢はないとのこと。
- 2.2 平成 18 年度 光応用・視覚技術委員会活動状況報告
- 高橋委員長より配布資料 No.113-03 に基づき、新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会の解散報告書（設置期間 2004/6/1 ~ 2007/5/31）についてメール審議が行なわれ、3 月 2 日の運営委員会にて解散が承認されたこと、7 月までにシミュレーションコードの CD-ROM を添付した技術報告書を提出する予定であることが報告された。
- 2.3 各調査専門委員会の活動方針及び報告書
- 高橋委員長より配布資料 No.113-05 ~ 07 に基づき、メディアデバイス・視覚システム調査専門委員会、リソグラフィ先端技術調査専門委員会及び安全・安心のための赤外線技術調査専門委員会から活動方針及び報告書が提出された旨報告された。
- 2.4 無電極放電ランプ調査専門委員会設置趣意書

高橋委員長より配布資料No.113-08に基づき、神野委員より提出された無電極放電ランプ調査専門委員会設置趣意書が紹介されたが、提案者の神野委員が欠席のため、次回7月の光応用・視覚技術委員会にて再審議することとなった。

2.5 第8回リソグラフィ先端技術調査専門委員会報告

堀内委員より配布資料No.113-04に基づき、第8回委員会は12月15日に開催し、「電子ビーム直接描画技術開発 - MCC-CP 露光装置開発」および「ニュースバルでの EUVL 研究」について講演していただいた旨の報告があった。

2.6 平成18年度、19年度の活動計画について

配布資料No.113-09に基づき、各調査専門委員会の活動日程の確認を行った。綱脇委員より、8月3日午後4時～5時に堀場製作所（京都）の分析機器部門の見学を企画したい旨提案があり了承した。

2.7 幹事・委員の交代

高橋委員長より配布資料No.113-10に基づき、依田1号委員の任期満了による退任、神野2号委員を1号委員とする旨の説明があり、承認された。また、本田幹事の後任の推薦の依頼があった。

2.8 次回委員会について

日時：平成19年7月20日（金）14:30～17:30

場所：日本交通協会第1会議室

以上